

◆ 平成 29 年度
中間決算説明資料

◇ 中間決算の概況

◇ 貸出金等の状況

◆ 地域のお客さまとともに
～平成 29 年度中間期決算ハイライト～

株式会社 静岡銀行

【目 次】

平成 29 年度中間決算説明資料

I. 中間決算の概況

1. 損益状況	単体・連結	1
2. 業務純益	単体	3
3. 利鞘	単体	3
4. 有価証券関係損益	単体	3
5. 有価証券の評価損益		
①有価証券の評価基準		4
②評価損益	単体・連結	4
6. 退職給付関連	単体	5
7. ROE	単体	5
8. 預金、貸出金の残高	単体	5
9. 自己資本比率（国際統一基準）	単体・連結	6

II. 貸出金等の状況

1. リスク管理債権	単体・連結	7
2. リスク管理債権の保全状況	単体・連結	7
3. 金融再生法開示債権	単体・連結	8
4. 金融再生法開示債権の保全状況	単体・連結	8
5. 自己査定結果（債務者区分別）	単体・連結	9
6. 貸倒引当金等の状況	単体・連結	9
7. 業種別貸出状況等		
①業種別貸出金	単体	10
②業種別貸出金＜うち県内＞	単体	10
③業種別リスク管理債権	単体	11
④消費者ローン残高	単体	11
⑤中小企業等貸出比率	単体	11

地域のお客さまとともに

～平成 29 年度中間決算ハイライト～

1. 地域のお客さまとともに	1
2. 決算の状況（連結・単体）	2
決算の状況（単体決算の主な特徴点）	4
3. 新たな事業領域への取組み	5
4. 貸出金の状況①	6
貸出金の状況②	7
5. 有価証券の状況	8
6. 預金の状況①	9
預金の状況②	10
7. 預り資産の状況	11
8. 健全性	
①自己資本比率の状況	12
②与信関係費用の状況	13
③不良債権の状況	14
9. 株主還元の状況	15
10. 業績予想	16
11. 【ご参考】地域密着型金融への取組み	17
12. 決算データ編	24

I. 中間決算の概況

増減については、表上にて算出しております。

1. 損益状況【単体】

(単位:百万円)

	29年中間期		28年中間期
		28年中間期比	
業務粗利益	62,532	△ 15,461	77,993
(除く国債等債券損益)	62,101	△ 3,588	65,689
国内業務粗利益	57,768	△ 1,017	58,785
(除く国債等債券損益)	57,661	△ 650	58,311
資金利益	49,943	△ 214	50,157
役務取引等利益	7,512	△ 395	7,907
特定取引利益	290	122	168
その他業務利益	22	△ 529	551
(うち国債等債券損益)	106	△ 367	473
国際業務粗利益	4,764	△ 14,444	19,208
(除く国債等債券損益)	4,440	△ 2,937	7,377
資金利益	3,919	△ 2,860	6,779
役務取引等利益	180	△ 18	198
特定取引利益	112	61	51
その他業務利益	550	△ 11,628	12,178
(うち国債等債券損益)	324	△ 11,506	11,830
経費(除く臨時処理分)	(△) 41,756	1,527	40,229
人件費	(△) 16,278	△ 193	16,471
物件費	(△) 21,769	1,315	20,454
税金	(△) 3,708	405	3,303
実質業務純益 (注1)	20,776	△ 16,988	37,764
基礎的業務純益 (注2)	20,345	△ 5,114	25,459
①一般貸倒引当金繰入額 (注3) (△)	— [△8,909] —	[△9,114] △ 205	205
業務純益	20,776	△ 16,782	37,558
うち国債等債券損益	430	△ 11,874	12,304
(金銭の信託運用見合費用) (△)	0	0	0
臨時損益	10,536	12,802	△ 2,266
②不良債権処理額 (△)	112	△ 2,767	2,879
貸出金償却 (△)	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額 (注3) (△)	— [2,150] —	[△297] △ 2,447	2,447
貸出債権売却損等 (△)	△ 15	△ 2	△ 13
偶発損失引当金繰入額 (△)	△ 271	△ 415	144
信用保証協会負担金 (△)	399	98	301
③貸倒引当金戻入益 (注3)	→ 6,759	6,759	—
④償却債権取立益	—	—	—
(与信関係費用 ①+②-③-④) (△)	△ 6,646	△ 9,731	3,085
株式等関係損益	4,242	4,221	21
株式等売却益	4,244	4,220	24
株式等売却損 (△)	—	△ 0	0
株式等償却 (△)	1	0	1
その他の臨時損益	△ 352	△ 943	591
経常利益	31,312	△ 3,979	35,291
特別損益	△ 2	12,459	△ 12,461
固定資産処分損益	△ 2	89	△ 91
関係会社株式評価損 (△)	—	△ 12,370	12,370
税引前中間純利益	31,309	8,480	22,829
法人税、住民税及び事業税 (△)	6,740	△ 3,039	9,779
法人税等調整額 (△)	2,207	1,939	268
法人税等合計 (△)	8,947	△ 1,100	10,047
中間純利益	22,362	9,580	12,782

(注) 1. 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

2. 基礎的業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

3. 29年中間期は一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。なお、[]内はネットティング前の金額であります。

【連結】

<連結損益計算書ベース>

(単位:百万円)

	29年中間期		28年中間期
		28年中間期比	
連結粗利益 (注1)	70,189	△ 14,095	84,284
資金利益	52,916	△ 2,698	55,614
役務取引等利益	14,777	67	14,710
特定取引利益	1,926	706	1,220
その他業務利益	569	△ 12,169	12,738
営業経費 (△)	47,051	1,897	45,154
①一般貸倒引当金繰入額 (注2) (△)	— [△8,708] —	[△8,869] △ 161	161
②不良債権処理額 (△)	239	△ 2,966	3,205
貸出金償却 (△)	126	18	108
個別貸倒引当金繰入額 (注2) (△)	— [2,474] —	[△ 189] △ 2,663	2,663
貸出債権売却損等 (△)	△ 15	△ 3	△ 12
偶発損失引当金繰入額 (△)	△ 271	△ 415	144
信用保証協会負担金 (△)	399	98	301
③貸倒引当金戻入益 (注2)	→ 6,234	6,234	—
④償却債権取立益	10	1	9
(与信関係費用①+②-③-④) (△)	△ 6,005	△ 9,362	3,357
株式等関係損益	4,321	4,260	61
持分法による投資損益	615	12,526	△ 11,911
その他	1,290	△ 663	1,953
経常利益	35,370	9,495	25,875
特別損益	△ 2	103	△ 105
税金等調整前中間純利益	35,368	9,598	25,770
法人税、住民税及び事業税 (△)	8,331	△ 2,699	11,030
法人税等調整額 (△)	2,115	1,844	271
法人税等合計 (△)	10,446	△ 855	11,301
中間純利益	24,921	10,453	14,468
非支配株主に帰属する中間純利益 (△)	8	△ 15	23
親会社株主に帰属する中間純利益	24,912	10,467	14,445

(注)1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用)
+ (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 29年中間期は一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、
取崩超過額を貸倒引当金戻入益に計上しております。なお、[]内はネットティング前の金額であります。

(参考)

(単位:百万円)

	29年中間期		28年中間期
		28年中間期比	
連結業務純益	24,835	△3,307	28,142

(注)連結業務純益 = 単体業務純益 + 連結経常利益 - 単体経常利益

(連結対象会社数)

(単位:社)

	29年中間期		28年中間期
		28年中間期比	
連結子会社数	12	—	12
持分法適用会社数	3	—	3

2. 業務純益【単体】

(単位:百万円)

	29年中間期		28年中間期
		28年中間期比	
(1)実質業務純益	20,776	△ 16,988	37,764
職員一人当たり(千円)	7,264	△ 5,731	12,995
(2)業 務 純 益	20,776	△ 16,782	37,558
職員一人当たり(千円)	7,264	△ 5,660	12,924

(注)職員数は、海外の現地採用を含み、出向者を除いた平均人員を使用しております。

3. 利鞘【単体】

(単位:%)

	29年中間期		28年中間期
		28年中間期比	
(1)資金運用利回 (A)	1.21	△ 0.02	1.23
(イ)貸出金利回 (a)	1.23	0.00	1.23
(ロ)有価証券利回	1.63	0.17	1.46
(2)資金調達原価 (B)	0.98	0.04	0.94
(イ)預金等利回 (b)	0.09	0.03	0.06
(ロ)外部負債利回	0.73	0.23	0.50
(3)預貸金レート差 (a)-(b)	1.14	△ 0.02	1.16
(4)総資金利鞘 (A)-(B)	0.22	△ 0.07	0.29

(参考)国内業務部門

(単位:%)

(1)資金運用利回 (A)	1.11	△ 0.04	1.15
(イ)貸出金利回 (a)	1.15	△ 0.06	1.21
(ロ)有価証券利回	1.67	0.35	1.32
(2)資金調達原価 (B)	0.91	△ 0.02	0.93
(イ)預金等利回 (b)	0.02	△ 0.00	0.02
(ロ)外部負債利回	0.00	△ 0.02	0.02
(3)預貸金レート差 (a)-(b)	1.13	△ 0.06	1.19
(4)総資金利鞘 (A)-(B)	0.19	△ 0.02	0.21

4. 有価証券関係損益【単体】

(単位:百万円)

	29年中間期		28年中間期
		28年中間期比	
国債等債券損益	430	△ 11,874	12,304
売却益	784	△ 12,374	13,158
償還益	—	—	—
売却損 (△)	253	△ 601	854
償還損 (△)	—	—	—
償却 (△)	99	99	—

(単位:百万円)

株式等関係損益	4,242	4,221	21
売却益	4,244	4,220	24
売却損 (△)	—	△ 0	0
償却 (△)	1	0	1

(注)28年中間期における償却には、特別損失に計上した「関係会社株式評価損」を含めておりません。

5. 有価証券の評価損益

①有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入)
子会社株式及び関連会社株式	原価法

②評価損益

【単体】

(単位：百万円)

	29年9月末				29年3月末		
	評価損益				評価損益		
		前期比	評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	0	△ 0	0	—	0	0	—
子会社・関連会社株式	4,721	2,504	4,721	—	2,217	2,217	—
その他有価証券	273,744	42,883	277,248	3,504	230,861	234,345	3,484
株 式	265,050	42,240	265,068	17	222,810	222,847	37
債 券	4,711	△ 1,078	5,744	1,032	5,789	7,005	1,215
その他	3,982	1,721	6,436	2,454	2,261	4,492	2,231
合 計	278,466	45,387	281,970	3,504	233,079	236,563	3,484
株 式	269,772	44,745	269,789	17	225,027	225,065	37
債 券	4,712	△ 1,078	5,744	1,032	5,790	7,005	1,215
その他	3,982	1,721	6,436	2,454	2,261	4,492	2,231

【連結】

(単位：百万円)

	29年9月末				29年3月末		
	評価損益				評価損益		
		前期比	評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	259	△ 33	271	12	292	303	10
その他有価証券	275,782	43,423	279,401	3,619	232,359	235,993	3,634
株 式	266,918	42,745	266,935	17	224,173	224,211	37
債 券	4,711	△ 1,078	5,744	1,032	5,789	7,005	1,215
その他	4,151	1,756	6,721	2,569	2,395	4,776	2,381
合 計	276,041	43,389	279,673	3,632	232,652	236,297	3,644
株 式	266,918	42,745	266,935	17	224,173	224,211	37
債 券	4,807	△ 1,095	5,851	1,044	5,902	7,128	1,226
その他	4,315	1,740	6,885	2,569	2,575	4,956	2,381

(注)「その他有価証券」については時価評価しておりますので、上記の表上は(連結)貸借対照表計上額と取得価額との差額を計上しております。

6. 退職給付関連【単体】

(単位:百万円)

区 分	29年中間期	28年中間期
退職給付債務(期首)	69,567	72,265
(割引率)	(1.0%)	(1.0%)
年金資産(期首)	63,533	62,913
退職給付引当金純額(期首)	4,500	5,170
数理計算上の差異要償却残額(期首)	1,533	4,180
(償却年数)	(10年)	(10年)
中間期償却額	1,286	1,077

(単位:百万円)

区 分	29年中間期	28年中間期
退職給付費用	1,987	1,801
勤務費用	744	782
利息費用	347	360
期待運用収益	△639	△631
数理計算上の差異の費用処理額	1,286	1,077
その他(注)	248	210

(注)その他には、臨時に支払った割増退職金、確定拠出年金掛金等を計上しております。

7. ROE【単体】

(単位:%)

	29年中間期		28年中間期
		28年中間期比	
業務純益ベース	4.57	△3.93	8.50
基礎的業務純益ベース	4.47	△1.29	5.76
中間純利益ベース	4.92	2.03	2.89

(注)分母となる自己資本平均残高は(期首自己資本+期末自己資本)÷2により算出しております。

なお、自己資本は純資産の部合計から新株予約権を控除しております。

8. 預金、貸出金の残高【単体】

(単位:百万円)

	29年中間期			29年3月期	28年中間期
		29年3月期比	28年中間期比		
預 金(末残)	9,404,965	100,871	360,409	9,304,094	9,044,556
(平残)	9,260,492	211,366	349,698	9,049,126	8,910,794
貸出金(末残)	8,138,991	183,735	445,837	7,955,256	7,693,154
(平残)	7,968,160	273,956	396,237	7,694,204	7,571,923

9. 自己資本比率（国際統一基準）

【単体】

（単位：億円）

	29年9月末			29年3月末	28年9月末
		29年3月末比	28年9月末比		
(1) 総自己資本比率 (4)/(7)	15.09%	0.31%	1.44%	14.78%	13.65%
(2) Tier1比率 (5)/(7)	15.09%	0.31%	1.73%	14.78%	13.36%
(3) 普通株式等Tier1比率 (6)/(7)	15.09%	0.31%	1.73%	14.78%	13.36%
(4) 総自己資本の額(注1)	8,298	315	317	7,983	7,981
(5) Tier1資本の額	8,298	315	487	7,983	7,811
(6) 普通株式等Tier1資本の額	8,298	315	487	7,983	7,811
(7) リスク・アセットの額	54,966	957	△ 3,485	54,009	58,451

【連結】

（単位：億円）

	29年9月末			29年3月末	28年9月末
		29年3月末比	28年9月末比		
(1) 総自己資本比率 (4)/(7)	16.71%	0.36%	1.67%	16.35%	15.04%
(2) Tier1比率 (5)/(7)	16.71%	0.36%	2.03%	16.35%	14.68%
(3) 普通株式等Tier1比率 (6)/(7)	16.71%	0.36%	2.03%	16.35%	14.68%
(4) 総自己資本の額(注1)	8,864	357	489	8,507	8,375
(5) Tier1資本の額	8,864	357	690	8,507	8,174
(6) 普通株式等Tier1資本の額	8,864	357	690	8,507	8,174
(7) リスク・アセットの額	53,045	1,017	△ 2,611	52,028	55,656

- (注) 1. 総自己資本の額には、優先株式、劣後債等を含んでおりません。
 2. 平成26年金融庁告示第7号に基づく「自己資本の構成に関する開示事項」につきましては、当行ホームページの財務・業績ハイライト (<http://www.shizuokabank.co.jp/ir/financial/index.html>) に掲載しております。

Ⅱ. 貸出金等の状況

1. リスク管理債権 (部分直接償却は実施していません。)

【単体】

(単位: 百万円、%)

		29年9月末						29年3月末		28年9月末	
				29年3月末比		28年9月末比					
			貸出金残高比		貸出金残高比		貸出金残高比		貸出金残高比		貸出金残高比
リスク 管理 債権	破綻先債権額	2,213	0.02	△ 746	△0.01	△ 1,945	△0.03	2,959	0.03	4,158	0.05
	延滞債権額	78,880	0.96	△ 5,394	△0.09	△ 13,765	△0.24	84,274	1.05	92,645	1.20
	3カ月以上延滞債権額	883	0.01	459	0.01	393	0.01	424	0.00	490	0.00
	貸出条件緩和債権額	12,286	0.15	△ 867	△0.01	△ 1,535	△0.02	13,153	0.16	13,821	0.17
	合 計	94,263	1.15	△ 6,548	△0.11	△ 16,853	△0.29	100,811	1.26	111,116	1.44
貸出金残高(末残)		8,138,991		183,735		445,837		7,955,256		7,693,154	

(部分直接償却を実施した場合)

リスク管理債権	89,928	1.10	△ 5,876	△0.10	△ 15,531	△0.27	95,804	1.20	105,459	1.37
---------	--------	------	---------	-------	----------	-------	--------	------	---------	------

(上記より信用保証協会による保証を控除した場合)

リスク管理債権	44,325	0.54	△ 2,058	△0.04	△ 6,414	△0.12	46,383	0.58	50,739	0.66
---------	--------	------	---------	-------	---------	-------	--------	------	--------	------

【連結】

(単位: 百万円、%)

		29年9月末						29年3月末		28年9月末	
				29年3月末比		28年9月末比					
					貸出金残高比		貸出金残高比				
			貸出金残高比		貸出金残高比		貸出金残高比		貸出金残高比		貸出金残高比
リスク 管理 債権	破綻先債権額	2,477	0.03	△ 761	△0.01	△ 1,926	△0.02	3,238	0.04	4,403	0.05
	延滞債権額	80,312	0.98	△ 5,230	△0.09	△ 13,488	△0.24	85,542	1.07	93,800	1.22
	3カ月以上延滞債権額	883	0.01	459	0.01	393	0.01	424	0.00	490	0.00
	貸出条件緩和債権額	12,289	0.15	△ 868	△0.01	△ 1,537	△0.03	13,157	0.16	13,826	0.18
	合 計	95,963	1.18	△ 6,400	△0.11	△ 16,558	△0.28	102,363	1.29	112,521	1.46
貸出金残高(末残)		8,119,681		190,016		451,764		7,929,665		7,667,917	

(注) 当行、静銀リース㈱、静銀信用保証㈱、静銀ディーシーカード㈱、欧州静岡銀行の5社連結ベース

(部分直接償却を実施した場合)

リスク管理債権	90,451	1.11	△ 5,829	△0.10	△ 15,505	△0.27	96,280	1.21	105,956	1.38
---------	--------	------	---------	-------	----------	-------	--------	------	---------	------

(上記より信用保証協会による保証を控除した場合)

リスク管理債権	44,848	0.55	△ 2,011	△0.04	△ 6,388	△0.11	46,859	0.59	51,236	0.66
---------	--------	------	---------	-------	---------	-------	--------	------	--------	------

2. リスク管理債権の保全状況

【単体】

(単位: 百万円、%)

	29年9月末			29年3月末		28年9月末	
リスク管理債権額 (A)	94,263		△ 6,548		△ 16,853		111,116
担保・保証等による保全額(B)	67,666		△ 5,973		△ 13,421		81,087
非保全額 (C)=(A)-(B)	26,597		△ 575		△ 3,432		30,029
貸倒引当金 (D)	14,684		76		△ 1,351		16,035
引当率 (D)/(C)	55.20		1.44		1.80		53.40
保全率 (B+D)/(A)	87.36		△ 0.17		△ 0.04		87.40

【連結】

(単位: 百万円、%)

	29年9月末			29年3月末		28年9月末	
リスク管理債権額 (A)	95,963		△ 6,400		△ 16,558		112,521
担保・保証等による保全額(B)	68,003		△ 5,970		△ 13,412		81,415
非保全額 (C)=(A)-(B)	27,959		△ 430		△ 3,146		31,105
貸倒引当金 (D)	16,047		222		△ 1,065		17,112
引当率 (D)/(C)	57.39		1.65		2.38		55.01
保全率 (B+D)/(A)	87.58		△ 0.14		0.02		87.56

3. 金融再生法開示債権 (部分直接償却は実施していません。)

【単体】

(単位:百万円、%)

	29年9月末		29年3月末比		28年9月末比		29年3月末		28年9月末	
		総与信残高比		総与信残高比		総与信残高比		総与信残高比		総与信残高比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	12,432	0.14	△ 1,834	△0.03	△ 3,880	△0.06	14,266	0.17	16,312	0.20
危険債権	68,749	0.82	△ 4,302	△0.08	△ 11,856	△0.21	73,051	0.90	80,605	1.03
要管理債権	13,169	0.15	△ 408	△0.01	△ 1,143	△0.03	13,577	0.16	14,312	0.18
合 計	94,351	1.13	△ 6,544	△0.11	△ 16,879	△0.29	100,895	1.24	111,230	1.42
総与信残高	8,290,448		200,660		486,201		8,089,788		7,804,247	

(部分直接償却を実施した場合)

金融再生法開示債権	90,014	1.08	△ 5,866	△0.10	△ 15,554	△0.27	95,880	1.18	105,568	1.35
-----------	--------	------	---------	-------	----------	-------	--------	------	---------	------

(上記より信用保証協会による保証を控除した場合)

金融再生法開示債権	44,411	0.53	△ 2,047	△0.04	△ 6,437	△0.12	46,458	0.57	50,848	0.65
-----------	--------	------	---------	-------	---------	-------	--------	------	--------	------

【連結】

(単位:百万円、%)

	29年9月末		29年3月末比		28年9月末比		29年3月末		28年9月末	
		総与信残高比		総与信残高比		総与信残高比		総与信残高比		総与信残高比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	14,148	0.17	△ 1,691	△0.02	△ 3,593	△0.05	15,839	0.19	17,741	0.22
危険債権	68,770	0.83	△ 4,301	△0.07	△ 11,857	△0.20	73,071	0.90	80,627	1.03
要管理債権	13,173	0.16	△ 408	△0.00	△ 1,144	△0.02	13,581	0.16	14,317	0.18
合 計	96,092	1.16	△ 6,401	△0.11	△ 16,594	△0.28	102,493	1.27	112,686	1.44
総与信残高	8,229,977		193,835		457,434		8,036,142		7,772,543	

(注)当行の連結対象子会社12社全社について、自己査定を実施した結果に基づき記載

(部分直接償却を実施した場合)

金融再生法開示債権	90,542	1.10	△ 5,821	△0.10	△ 15,530	△0.26	96,363	1.20	106,072	1.36
-----------	--------	------	---------	-------	----------	-------	--------	------	---------	------

(上記より信用保証協会による保証を控除した場合)

金融再生法開示債権	44,939	0.54	△ 2,003	△0.04	△ 6,413	△0.12	46,942	0.58	51,352	0.66
-----------	--------	------	---------	-------	---------	-------	--------	------	--------	------

4. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位:百万円、%)

	29年9月末		29年3月末比		28年9月末比		29年3月末		28年9月末	
金融再生法開示債権 (A)	94,351		△ 6,544		△ 16,879		100,895		111,230	
担保・保証等による保全額(B)	67,752		△ 5,931		△ 13,383		73,683		81,135	
非保全額 (C)=(A)-(B)	26,599		△ 612		△ 3,495		27,211		30,094	
貸倒引当金 (D)	14,686		62		△ 1,370		14,624		16,056	
引当率 (D)/(C)	55.21		1.47		1.86		53.74		53.35	
保全率 (B+D)/(A)	87.37		△ 0.15		△ 0.00		87.52		87.37	

【連結】

(単位:百万円、%)

	29年9月末		29年3月末比		28年9月末比		29年3月末		28年9月末	
金融再生法開示債権 (A)	96,092		△ 6,401		△ 16,594		102,493		112,686	
担保・保証等による保全額(B)	68,093		△ 5,931		△ 13,375		74,024		81,468	
非保全額 (C)=(A)-(B)	27,999		△ 469		△ 3,218		28,468		31,217	
貸倒引当金 (D)	16,086		205		△ 1,093		15,881		17,179	
引当率 (D)/(C)	57.45		1.67		2.42		55.78		55.03	
保全率 (B+D)/(A)	87.60		△ 0.11		0.06		87.71		87.54	

5. 自己査定結果(債務者区分別)

【単体】

(単位:百万円)

	29年9月末	29年3月末比	28年9月末比	29年3月末	28年9月末
破綻先債権	2,213	△ 752	△ 1,948	2,965	4,161
実質破綻先債権	10,218	△ 1,082	△ 1,933	11,300	12,151
破綻懸念先債権	68,749	△ 4,302	△ 11,856	73,051	80,605
要注意先債権	773,787	△ 28,902	△ 38,742	802,689	812,529
要管理先債権	16,124	△ 662	△ 979	16,786	17,103
うち要管理債権(貸出金のみ)	13,169	△ 408	△ 1,143	13,577	14,312
その他要注意先債権	757,663	△ 28,239	△ 37,763	785,902	795,426
正常先債権	7,412,844	231,470	533,213	7,181,374	6,879,631
総与信残高(注)	8,267,814	196,434	478,734	8,071,380	7,789,080

(注) 貸出金、支払承諾見返、外国為替、未収利息、貸出金に準ずる仮払金等(銀行保証付私募債を控除)

【連結】

(単位:百万円)

	29年9月末	29年3月末比	28年9月末比	29年3月末	28年9月末
破綻先債権	2,486	△ 768	△ 1,928	3,254	4,414
実質破綻先債権	11,662	△ 923	△ 1,664	12,585	13,326
破綻懸念先債権	68,770	△ 4,301	△ 11,857	73,071	80,627
要注意先債権	773,813	△ 29,257	△ 38,742	803,070	812,555
要管理先債権	16,128	△ 662	△ 979	16,790	17,107
うち要管理債権(貸出金のみ)	13,173	△ 408	△ 1,144	13,581	14,317
その他要注意先債権	757,685	△ 28,595	△ 37,762	786,280	795,447
正常先債権	7,350,609	224,856	504,158	7,125,753	6,846,451
総与信残高(注)	8,207,341	189,606	449,965	8,017,735	7,757,376

(注) クレジットカード会社のカード債権・求償債権、リース会社のリース債権・割賦債権、信用保証会社の求償債権等を含む

6. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位:百万円)

	29年9月末	29年3月末比	28年9月末比	29年3月末	28年9月末
貸倒引当金	35,371	△ 8,676	△ 10,307	44,047	45,678
一般貸倒引当金	21,439	△ 8,910	△ 8,890	30,349	30,329
個別貸倒引当金	13,931	233	△ 1,417	13,698	15,348
偶発損失引当金	1,508	△ 271	△ 367	1,779	1,875

【連結】

(単位:百万円)

	29年9月末	29年3月末比	28年9月末比	29年3月末	28年9月末
貸倒引当金	38,824	△ 8,256	△ 9,700	47,080	48,524
一般貸倒引当金	22,224	△ 8,709	△ 8,588	30,933	30,812
個別貸倒引当金	16,600	454	△ 1,111	16,146	17,711
偶発損失引当金	1,508	△ 271	△ 367	1,779	1,875

【貸倒引当金等の計上基準(単体)】

《一般貸倒引当金》

区 分	引 当 金 計 上 基 準
正常先債権	債務者格付毎の債権の平均残存期間に対する過去3算定期間の貸倒実績率にもとづき、残存期間における予想損失率を算出し、債権額に同予想損失率を乗じて、一般貸倒引当金に計上しています。また、要注意先及び要管理先のうち、一部の大口債権について、キャッシュ・フロー見積法(DCF法)により一般貸倒引当金を算出しております。
要注意先債権	
要管理先債権	

《個別貸倒引当金》

区 分	引 当 金 計 上 基 準
破綻懸念先債権	過去3算定期間の貸倒実績率にもとづき、今後3年における予想損失率を算出し、Ⅲ分類とされた債権に予想損失率を乗じて、個別貸倒引当金に計上しています。
実質破綻先債権	
破綻先債権	

《偶発損失引当金》

引 当 金 計 上 基 準
予め定めている償却・引当基準に則り、将来発生する可能性のある信用保証協会への負担金支払見込額を計上しております。

7. 業種別貸出状況等

①業種別貸出金【単体】

(単位:百万円)

	29年9月末			29年3月末	28年9月末
		29年3月末比	28年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	7,909,824	187,608	415,271	7,722,216	7,494,553
製造業	1,307,020	△ 14,259	△ 5,242	1,321,279	1,312,262
農業、林業	7,851	129	415	7,722	7,436
漁業	5,926	△ 212	467	6,138	5,459
鉱業、採石業、砂利採取業	15,045	491	344	14,554	14,701
建設業	237,220	△ 3,167	4,731	240,387	232,489
電気・ガス・熱供給・水道業	86,282	8,205	16,953	78,077	69,329
情報通信業	68,091	5,577	△ 2,510	62,514	70,601
運輸業、郵便業	290,620	13,200	6,275	277,420	284,345
卸売業、小売業	799,080	2,962	24,121	796,118	774,959
金融業、保険業	401,393	13,865	36,343	387,528	365,050
不動産業、物品賃貸業 (注)	1,819,809	92,392	173,930	1,727,417	1,645,879
医療・福祉、宿泊業等サービス業	526,221	12,318	39,765	513,903	486,456
地方公共団体	139,357	△ 1,347	△ 3,309	140,704	142,666
その他 (注)	2,205,902	57,454	122,989	2,148,448	2,082,913

②業種別貸出金【単体】＜うち県内＞

(単位:百万円)

	29年9月末			29年3月末	28年9月末
		29年3月末比	28年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	4,915,882	50,814	136,546	4,865,068	4,779,336
製造業	820,003	△ 1,050	9,676	821,053	810,327
農業、林業	7,337	16	260	7,321	7,077
漁業	5,776	△ 197	427	5,973	5,349
鉱業、採石業、砂利採取業	2,902	150	22	2,752	2,880
建設業	205,983	△ 2,926	3,889	208,909	202,094
電気・ガス・熱供給・水道業	17,671	1,951	5,119	15,720	12,552
情報通信業	11,813	714	△ 4,940	11,099	16,753
運輸業、郵便業	185,344	6,520	5,487	178,824	179,857
卸売業、小売業	451,203	5,895	6,093	445,308	445,110
金融業、保険業	71,801	△ 2,136	3,999	73,937	67,802
不動産業、物品賃貸業 (注)	843,675	14,535	29,635	829,140	814,040
医療・福祉、宿泊業等サービス業	417,883	7,340	29,394	410,543	388,489
地方公共団体	139,357	△ 1,347	△ 3,290	140,704	142,647
その他 (注)	1,735,127	21,349	50,776	1,713,778	1,684,351

(注) 29年9月末より、従来、「その他」に含めていた個人向け「資産形成ローン」について「不動産業、物品賃貸業」に変更し、29年3月末および28年9月末に遡及して適用しております。

③業種別リスク管理債権【単体】

(単位:百万円)

	29年9月末			29年3月末	28年9月末
		29年3月末比	28年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	94,263	△ 6,548	△ 16,853	100,811	111,116
製造業	16,733	△ 877	△ 2,662	17,610	19,395
農業、林業	26	10	△ 15	16	41
漁業	66	△ 613	△ 387	679	453
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—
建設業	13,834	△ 514	△ 2,869	14,348	16,703
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	257	△ 10	△ 902	267	1,159
運輸業、郵便業	1,446	△ 796	△ 1,221	2,242	2,667
卸売業、小売業	14,632	△ 317	△ 2,702	14,949	17,334
金融業、保険業	29	24	23	5	6
不動産業、物品賃貸業	19,854	△ 1,581	△ 3,936	21,435	23,790
医療・福祉、宿泊業等サービス業	15,257	△ 1,125	△ 1,087	16,382	16,344
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	12,124	△ 750	△ 1,095	12,874	13,219

④消費者ローン残高【単体】

(単位:百万円)

	29年9月末			29年3月末	28年9月末
		29年3月末比	28年9月末比		
消費者ローン残高 (注)	3,030,657	85,606	172,244	2,945,051	2,858,413
住宅ローン残高 (注)	2,670,289	65,700	128,376	2,604,589	2,541,913
その他ローン残高	360,368	19,907	43,869	340,461	316,499

(注)「消費者ローン残高」および「住宅ローン残高」には、アパートローンを含んでおります。

⑤中小企業等貸出比率【単体】

(単位:百万円、%)

	29年9月末			29年3月末	28年9月末
		29年3月末比	28年9月末比		
中小企業等向け貸出金残高	6,280,965	185,430	404,836	6,095,535	5,876,129
個人向け残高 (注1)	3,042,632	86,513	173,687	2,956,119	2,868,945
中小企業向け残高	3,238,332	98,917	231,149	3,139,415	3,007,183
中小企業等貸出比率 (注2)	79.40	0.47	1.00	78.93	78.40

(注)1.「個人向け残高」には、アパートローンを含んでおります。

2.国内店貸出金に占める中小企業等向け貸出金の割合であります。